

平成24年行政事業レビューシート (公正取引委員会)

事業名	国際競争組織分担金	担当部局庁	官房	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度～	担当課室	官房国際課	杉山 幸成			
会計区分	一般会計	施策名	③競争政策の広報・広聴等				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際競争組織分担金とは、ICN(International Competition Network、国際競争ネットワーク)の各参加競争当局が、ICNの運営費用を分担して支出するものである。発展途上国を含むより多くの競争当局がICNの活動に幅広く参加することによりICNの成果も一層充実したものとなるとの観点から、渡航費の捻出が困難であると認められる競争当局については、参加当局の分担金により費用負担をしている。また、近年はICNウェブサイトを通じた情報発信が進められているところ、コンテンツの充実等を図るため、ウェブサイトの運営費用に関しても、同様の枠組を用いて参加当局が負担することとなっている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各国・地域競争当局のネットワークである国際競争ネットワーク(ICN)の運営経費の一部を負担。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
		補正予算	0	0	0	0.0	
		繰越し等	0	0	0	0.0	
	計	0.3	0.3	0.3	0.3		
	執行額	0.3	0.3	0.2			
執行率(%)	96	96	87				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	※国際競争組織分担金は、途上国を始めとするより多くの競争当局がICNの活動に幅広く参画するために、一人当たりのGNI(国民総所得)を基礎に算出された一定金額を各競争当局が負担することとされているものであり、より多くの競争当局がICNの活動に幅広く参画したという当該分担金支出の成果について、数値で定量的に示される指標を設定することはできない。	成果実績					
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	※国際競争組織分担金は、途上国を始めとするより多くの競争当局がICNの活動に幅広く参画するため、一人当たりのGNI(国民総所得)を基礎に算出された一定金額を各競争当局が負担することとされているものであり、当該分担行為の内容を説明できる定量的な指標を設定することはできない。	活動実績 (当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	国際競争組織分担金	0.3	0.3				
	計	0.3	0.3				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本組織は、競争法執行における手続面及び実体面の取れんを促進することを目的としているところ、経済のグローバル化が進む中、同取れんに対する国民、特に、グローバルに事業展開する事業者のニーズは非常に高い。また、本組織は、各国・地域における競争当局(国の機関)により構成される組織であるところ、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	費用は、各国の一人当たりのGNI(国民総所得)に応じて決定されており、発展途上国を含めたICN加盟国(同費用による受益者)が公平に負担するものである。また、同費用はICNの運営費用に限定されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	費用は、各国の一人当たりのGNI(国民総所得)に応じて公平に決定されており、他の方法よりも実効性が高い。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	各国競争当局が参加する本組織に参加することは有用であり、当該組織の運営のために必要な分損金であることから、当該予算措置を継続する。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	現状どおりとする。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	チーム所見どおり、要求額を維持する。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	③(3)	平成23年行政事業レビュー	⑥

公正取引委員会
0.24百万円

〔 ICNの各種会合に参加 〕



A. ICN事務局
0.24百万円

〔 参加当局への連絡, ウェブ
サイトの運営等 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ICN事務局(カナダ競争局)	ICNにおける運営上の諸事務(参加当局への連絡, ウェブサイトの運営等)	0.24		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					